

# 平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の 整備に関する検討委員会(第3回)

## 委員会資料

平成30年10月 5日(金)

奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局  
平城宮跡事業推進室

## ○本資料の構成

### （1）歴史体験学習館の位置づけ（上位関連計画の再確認）

「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域基本計画」（平成20年12月）

**【基本理念】** 古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、  
平城宮跡の保存と活用を通じて、  
“奈良時代を今に感じる”空間を創出する。

**【基本方針】**

- ① 特別史跡・世界遺産である歴史・文化資産としての適切な保存・管理
- ② 古代国家の歴史・文化の体感・体験
- ③ 古都奈良の歴史・文化を知る拠点づくり
- ④ 国営公園として利活用性の高い空間形成

### （2）これまでの検討委員会のご意見

第3回  
検討委員会

○本資料の構成

第3回検討委員会の議事の流れ

**（3）歴史体験学習館の機能**

上位計画や検討委員会のご意見、周辺関連施設との役割分担から、歴史体験学習館の機能を設定

**（4）本施設で展開する歴史体験学習とは**

具体的な検討にあたり歴史体験学習館における「歴史体験学習」、「交流」の定義を設定

**（5）歴史体験学習館の基本コンセプトと基本方針**

前項までの整理により、本施設の基本コンセプトと基本方針を設定

**（6）歴史体験学習館の基本的な考え方**

本施設の基本コンセプトと基本方針に基づき、対象とする時間軸、対象範囲、テーマ、展示手法、主なターゲット層などを設定

**（7）歴史体験学習のテーマと体験内容（案）**

歴史体験学習館の基本的な考え方をふまえた体験テーマの3つの柱とその体験内容（案）を整理

## （1）歴史体験学習館の位置づけ（上位関連計画）

「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域基本計画」（平成20年12月）から抜粋

### 【基本理念】

古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、  
平城宮跡の保存と活用を通じて、  
“奈良時代を今に感じる”空間を創出する。

### 【基本方針】

- ① 特別史跡・世界遺産である歴史・文化資産としての適切な保存・管理
- ② 古代国家の歴史・文化の体感・体験
- ③ 古都奈良の歴史・文化を知る拠点づくり
- ④ 国営公園として利活用性の高い空間形成

## （1）歴史体験学習館の位置づけ（上位関連計画）

「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域基本計画」（平成20年12月）から抜粋

### 【導入すべき機能】

- ① 歴史・文化体感・体験機能
- ② 歴史・文化交流拠点機能
- ③ 観光ネットワーク拠点機能
- ④ 自然的環境保全・創出機能
- ⑤ レクリエーション機能
- ⑥ 利用サービス機能

### 【拠点ゾーン（拠点施設エリア）の利用・整備計画】

本公園の正面玄関として、園内の案内・利用情報の提供に併せ、平城宮跡に対する知識と理解を深めるためのガイダンス、出土品の展示等を行う施設を設けるとともに、その拠点性、利便性を活かし、奈良全体の歴史・文化にかかる情報発信や交流の拠点となる施設を設けるエリアとする。

「平城宮跡展示館」：平城宮跡の出土品や資料の展示、宮跡全体のガイダンスを行う施設

「歴史体験学習館」：奈良全体にかかる歴史・文化情報の発信や交流の会場となる施設

## （2）これまでの検討委員会のご意見のポイント

※●合意されているご意見、△複数のご意見があるもの

### 【基本コンセプト】

- 体験を中心とした施設

### 【対象とする主な時間軸】

- 飛鳥時代～奈良時代

### 【対象とする範囲】

- △ 平城宮跡（平城宮跡を中心とした平城京）
- △ 奈良全体

### 【体験学習・展示テーマの切口】

- 国際交流を通じて平城遷都につながる歴史や奈良時代の歴史を学習
- 国際交流により得た正倉院宝物の展示による文化の学習

### 【主な体験・展示手法】（見せ方）

- △ 歴史上の人物になりきった史実の体験
- △ 正倉院宝物の模造品を見たりレプリカを触ったりする体験
- △ 映像技術の向上を期待した疑似体験

### 【主なターゲット層】

- △ ターゲット層を絞るのか、特に設定せず幅広く対応するのか

### （3）歴史体験学習館の機能

#### 【体験】

- ① 国際交流により、律令制度などの国づくりがどこで、どのように進み、平城遷都につながったのかや、奈良時代の国際交流について学ぶ
- ② 国際交流によりシルクロードから伝わった宝物が正倉院に収蔵されており、奈良時代を代表する宝物を介して天平文化を学ぶ
- ③ 国際交流豊かな奈良時代の様々な人々の暮らしぶりを学ぶ

#### 【交流】

- ④ 歴史体験学習館に集まった人同士が、相互に交流ができるとともに、歴史・文化に関する国際交流や地域交流に資するイベントなどを開催できるような場を設ける

## （４）本施設で展開する歴史体験学習とは

### 【歴史体験学習館で行う「歴史体験学習」の定義】

本施設で行う「歴史体験学習」とは、国際交流が平城遷都や天平文化の発展にどのようなつながったのかを楽しみながら学ぶ活動とする。

### 【歴史体験学習館で行う「交流」の定義】

本施設で行う「交流」とは、遊ぶ・作るなどの様々な体験やなりきり体験などの歴史体験を介して、施設に集う人々が相互に対話し、平城宮があった頃の歴史や文化の理解を共有しあうこととする。



## （5）歴史体験学習館の基本コンセプトと基本方針

“（3）歴史体験学習館の機能”から、本施設の基本コンセプトと基本方針を以下のように設定

### 【歴史体験学習館の基本コンセプト】

“奈良時代を今に感じる” 歴史文化体験と交流の舞台

### 【歴史体験学習館の整備基本方針】

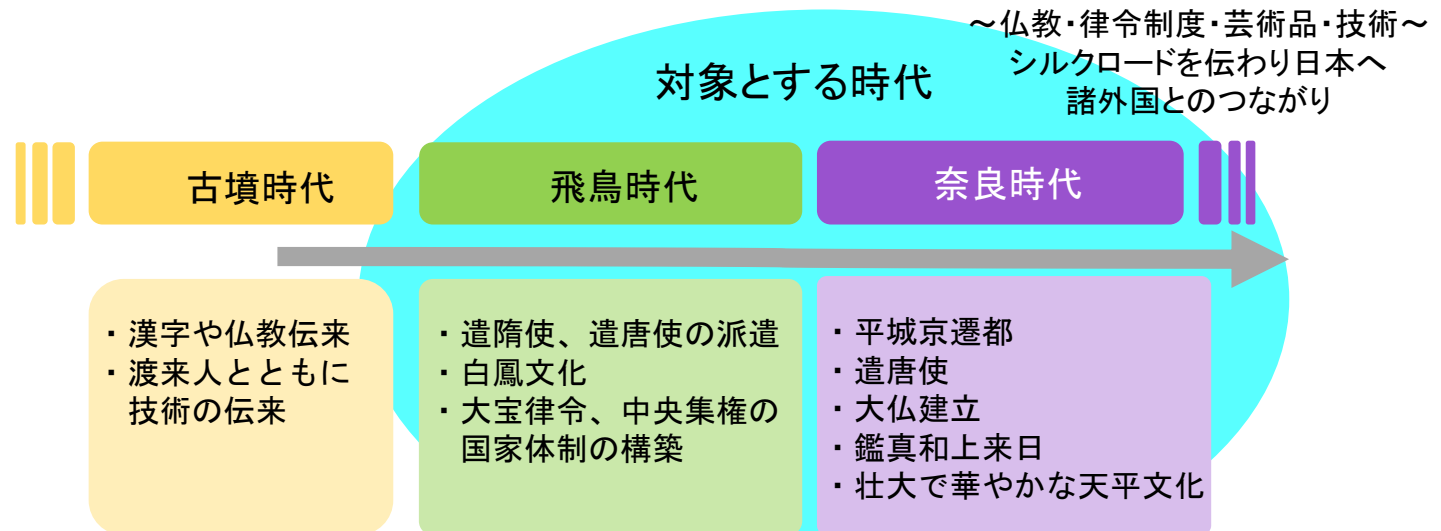
- 平城遷都を中心に据えた歴史・文化の体験環境の構築
- 歴史・文化の学習を通じた奈良全体への誘いの仕掛け構築
- 体験を通じて誰もが集える交流の舞台構築

## （6）歴史体験学習館の基本的な考え方

### 【対象とする主な時間軸】

#### ●飛鳥時代～奈良時代

- 平城京は唐の都「長安城」などがモデルと言われている。当時の日本は、国づくりのために中国の優れた文化や政治の仕組みを取り入れながら、飛鳥古京から藤原京、平城京遷都と国づくりを成熟させ、天平文化を華開かせた。



## （6）歴史体験学習館の基本的な考え方

### 【対象とする基本テーマ】

#### ●国際交流

- ・ 奈良時代は遣唐使による国際交流が盛んな時代で、平城宮の設計や律令制度、生活様式にまで唐の影響を受ける。
- ・ 東西交易のシルクロードを通じて、唐の長安に集まった世界各地からの工芸品や、新羅や渤海からの文物などが奈良に伝来。
- ・ 文物に加え、思想の交流、人の交流、技術の交流などにより、唐の文化が広く定着。
- ・ 国際色豊かな刺激を受けたことにより、様々な美術品が国内でも作られ、正倉院の宝物として現代に伝わる。

→ これらの奈良時代を形成する事象は「国際交流」によるもの

## （6）歴史体験学習館の基本的な考え方

### 【対象とする範囲】

- 平城遷都前後の時期において、県内各地で生じた重要な史実を平城京と関連して扱い、平城遷都を際立たせる
- ・ 基本計画に『奈良全体にかかる歴史・文化情報の発信や交流の会場となる施設』とあることから、平城京周辺や斑鳩、飛鳥・藤原を含める。
- ・ 平城遷都を含む平城京を際立たせるために、諸外国との国際交流による飛鳥古京から藤原宮・平城宮の遷都へ至る経緯を知るとともに、その後どう発展したのかを知ることができるようにする。

## （6）歴史体験学習館の基本的な考え方

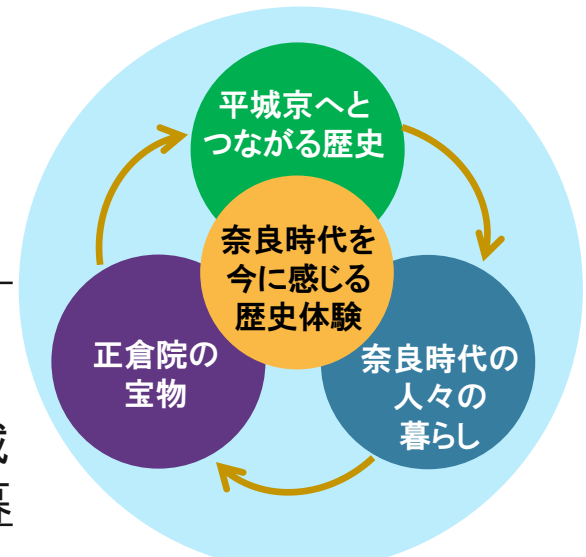
### 【体験学習・展示テーマ】

#### ● 国際交流により華やかだった時代の賜物：「天平文化」

- ・ 奈良時代の前から行われていた唐との交流により、文化や律令制度などを受け入れていた。これらを基盤として平城京への遷都が行われ、天平文化が華開いた過程について、下記の3つの柱を核として、体験学習することを狙いとする。
- ・ 単なる体験学習にとどまらず、その体験が行われていた「史実の場所」に足を運びたいような案内を付加価値的に行う。

#### ◇ “史実” “宝物” “遺構・遺物” “書物” の読み解きによるテーマの設定

- “史実” から読み解く「国際交流」を通じた平城京の成り立ち：【平城京へとつながる歴史】
- “宝物” から読み解く国際色豊かな天平文化：【正倉院の宝物】
- “遺構・遺物” “書物” などから読み解く平城宮の暮らしや年中行事：【奈良時代の人々の暮らし】



3つの柱で構成する歴史体験テーマ

## （6）歴史体験学習館の基本的な考え方

### 【体験・展示テーマ】

- ・ 歴史の史実に基づく(疑似)体験により、当該史実を理解するとともに、平城遷都とのつながりを意識させる
- ・ 正倉院宝物(模造品やレプリカ)が持つ貴重性にふれることにより、宝物や天平文化に興味を引き込む
- ・ 体験・体感を通じて誰もが交流できる場を提供

### 【主なターゲット層】

- ・ 飛鳥時代から大陸の優れた文化や政治制度などを学び、律令国家として歩み出した時代を歴史の流れに沿って学習できるものとすることから、歴史を学ぶ主たる世代である若者をメインターゲットとする
- ・ 交流人口を増やすためにも外国人観光客は重要であり、当時大陸から学んでいたことを外国人に知ってもらうためにも、外国人観光客もメインターゲットとする
- ・ 一方で、平城宮跡には歴史や史跡に興味のある方々も多数訪れていることから、壮年～ご年配の方にも楽しんでいただけるようにする

## （7）歴史体験学習のテーマと体験内容（案）

### 柱① 平城京へと つながる歴史

#### 【コンセプト】

国際交流を通じてどのように平城遷都や天平文化の発展につながったのかを学ぶ

#### 【体験テーマ】

「国際交流」や「天平文化」に着目し、飛鳥～奈良時代の重要な出来事を体験するコーナー

- ・ 律令国家の形成過程
- ・ 平城京の都づくり
- ・ 遣唐使の功績

など

### 柱② 正倉院の宝物

#### 【コンセプト】

宝物の美しさ、国際性豊かな文化に触れて奈良時代の華やかさを学ぶ

#### 【体験テーマ】

正倉院の宝物を見て触れて、往時の国際交流のスケールを体験するコーナー

- ・ 宝物の美しさ
- ・ 国際性豊かな表現力

など

### 柱③ 奈良時代の人々の暮らし

#### 【コンセプト】

宮廷の行事や位の違いによる人々の生活の様子、過ごし方などから当時を学ぶ

#### 【体験テーマ】

文献や考古資料、木簡などから読み解けるその時代の人々の暮らしを体験するコーナー

- ・ 宮廷の年中行事
- ・ 役人の仕事と生活、貴族の雅な日常
- ・ 庶民の暮らし

など

## （7）歴史体験学習のテーマと体験内容（案）

### 柱① 平城京へとつながる歴史

国際交流を通じてどのように平城遷都や天平文化の発展につながったのかを学ぶ

- ・「国際交流」や「天平文化」に着目し、飛鳥～奈良時代の重要な出来事を体験する

※ 体験内容の詳細は今後別途実施する基本設計において検討する

年代	テーマ	サブテーマ	想定する体験内容とその一例※
7世紀 (飛鳥時代)	律令国家の形成過程	遣隋使の派遣 先進国である隋の文化や政治制度を学ぶために遣隋使を派遣	国際交流により文化や政治制度などを学ぶための出来事を体験するとともに、どのように平城遷都につながったのかを学習 ・ 冠位十二階の衣装体験 ・ 大宝律令制定の背景を学び、木簡に約束事を明記する体験
		遣唐使の派遣① 唐の文化を学び律令国家としての基礎を固めるため遣唐使を派遣し都づくりとして飛鳥や藤原へ遷都	
8世紀初頭から中頃 (奈良時代)	平城京の都づくり	平城遷都 藤原京から唐の長安城をモデルとした平城京へ遷都 律令国家の中核機能としてより明確な中国式宮殿様式の採用	モデルとなった長安との規模や建築様式の比較、国際交流で伝わった土木、建築技術等を体験学習 ・ 遷都の背景を学び、都づくりの考え方の変遷を学習
		仏都・平城京 隋や唐でも仏教は盛んであったが、平城京でも国家守護的仏教として大きな役割を展開（飛鳥、白鳳文化を経て天平文化）、その象徴となる大仏造立	仏教によりもたらされた様々な思想や技術などを学習 ・ 各国の僧侶を招いて盛大に行った大仏建立の様子を映像体験
	遣唐使の功績	遣唐使の派遣② 遣唐使の派遣が天平文化の発展に寄与した功績	天平文化の発展に貢献した遣唐使の活躍を学習 ・ 阿倍仲麻呂の長安での活躍を主人公となって映像体験 ・ 唐から来日した鑑真和上とはを映像体験
唐招提寺建立 戒律を授けるため苦難の末に渡日を果たした鑑真和上の功績			



## （7）歴史体験学習のテーマと体験内容（案）

### 柱② 正倉院の宝物

宝物の美しさ、国際性豊かな文化に触れて奈良時代の華やかさを学ぶ

- ・ 正倉院の宝物を見て触れて、往時の国際交流のスケールを体験する

※ 体験内容の詳細は今後別途実施する基本設計において検討する

テーマ	サブテーマ	想定する体験内容とその一例※
宝物の美しさ	今に伝わる宝物の美しさ、高度な技術素材や技法、用途、保存法など、様々な切り口による宝物との向き合い	宝物模造品の展示 宝物模造品が作られる過程を映像体験
宝物の役割	シルクロードを渡ってきた宝物の天平文化への影響、また日本から唐へ送られた物品の役割・目的	宝物がどのように使われていたのかを、映像や展示により体験
宝物体験	宝物に直接触れることにより、親しみや興味を持つ	3Dプリンターによるレプリカを製作し、直接触れて実物大の大きさ・重さを体感

## （7）歴史体験学習のテーマと体験内容（案）

### 柱③ 奈良時代の人々の暮らし

国際交流の影響を受けた時代の宮廷行事や位の違いによる人々の生活の様子、過ごし方などから当時を学ぶ

- ・ 文献や考古資料、木簡などから読み解けるその時代の人々の暮らしを体験する

※ 体験内容の詳細は今後別途実施する基本設計において検討する

テーマ	サブテーマ	想定する体験内容とその一例※
宮廷行事	年中行事の再現 正月元旦（朝賀（ちょうが））、 五月五日（百索纒軸（ひやくさくるのじく））、 七月七日（銀・銅・鉄針）、 二月二日（撥鏤尺（ばちるのしゃく）） などの行事や儀式 衛士交代（朱雀門）	平城宮で行われていた行事を体験 ・ 正倉院宝物や出土木簡から想定する行事を体験 ・ 律令制と衣服令により厳密に制服化された奈良時代の衣装体験
役人や貴族の暮らし	役人の仕事と生活、貴族の日常 役人の一日の仕事や、貴族の暮らしぶり 唐風の生活、衣装など	位の違いや職業の違いによる平城宮内での仕事体験 ・ 貴族の大邸宅や庭園での雅な生活体験
庶民の生活	庶民の暮らし 日常生活の様子	奈良時代の暮らしぶりを体験 ・ 庶民の衣装体験
奈良時代の書物	古事記、万葉集、日本書紀から当時の生活や文化にふれる	史実に基づいた当時の生活を体験 ・ VRで映像体験